
鉱山研究会 (Japan Mine Research Society)

ニューズレター

No. 99

2015年5月26日

鉱山研究会 2015年度 年間行事・予定

行事回数 ①年次大会・例会 3回(可能ならば4回) ②見学会・巡検 2回
③映像の会 3回④海外文献の会 10回
刊行回数 ①「鉱山研究」1、2回 ②「ニューズレター」4回

2015年度

4月18日(土) 年次大会

5月14日(木) 海外文献の会

5月26日(火) 下旬 NL99 発行 (大会報告)

6月6日(土) 第41回 映像の会 川崎市産業振興会館

6月11日(木) 海外文献の会

7月18日(土) 例会 渋谷区立勤労福祉会館第三洋室

三輪紀元「第4次石炭政策下での雄別炭礦株式会社の企業ぐるみ閉山と仮想雄別炭礦再開発計画」

金丸哲也「第四次石炭政策と企業ぐるみ閉山(雄別を除く)」

7月中 海外文献の会

7月下旬 「鉱山研究」92号発行(未定)

8月中(土) 第42回 映像の会

8月中 海外文献の会

9月下旬 NL100 発行

10月中 海外文献の会

10月31日(土) 11月1日(日) 鉱山見学会 持倉鉱山ほか(新潟県阿賀野市)

11月中 海外文献の会

11月下旬 NL101 号発行

12月中(土) 第43回 映像の会

12月中 海外文献の会

12月末日 会報原稿締切

2016年

1月中(土)例会

1月中 海外文献の会

2月中 海外文献の会

2月下旬 NL102 発行

3月上旬 伊豆巡検(松崎町、南伊豆町付近)

3月中 海外文献の会

3月末 会報発行

4月 海外文献の会

4月中旬(土)年次大会

第41回鉱山の映像を観る会のご案内

丸山もとこ

初めてドイツ映画を取り上げます。原題は「Das Wunder von Lengede」、レンゲデの奇跡です。

1963年にドイツ、ブラウンシュヴァイク市レンゲデ炭鉱で起きた湖水流入事故を描いた作品です。この事故では129名が生き埋めになりました。その大半は比較的早い段階で脱出したり、救出されたりしましたが、11名が地下に取り残され、事故発生から2週間後に奇跡的に救出されました。

テレビではなかなか放送されない作品です。この機会にぜひご鑑賞ください。

【日時】2015年6月6日(土) 開場 13:00 上映開始 13:30 解散 17:00

【会場】川崎市産業振興会館(川崎市幸区堀川町66番地20) 11階第五会議室

【会費】無料

【上映内容】

13:30~14:15 「鉄—地球の記憶・地球の未来—」(18分)

「新日鉄の海の森づくり」(7分) ほか

14:15~14:30 休憩

14:30~16:35 映画「ダーク・プレイス」(ドイツ、2003年、124分)

【ウェブサイト】<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/visual/>

【連絡先】jmrs.eizonokai@gmail.com

定例会案内

1968年末に第四次石炭政策が発表され、炭礦会社各社への第二次肩代わりと2年間限定の特別閉山交付金制度が設けられました。第四次石炭政策（1968年）と雄別炭鉱をメインのテーマにして、三輪紀元さんと金丸哲也さんに報告をお願いしました。

（1）三輪紀元さんは、慶応義塾大学を卒業後、雄別炭鉱に入社し、退社後は富士通株式会社移り、YOUテレビや京都ケーブルコミュニケーションの社長をされました。

「第4次石炭政策下での雄別炭礦株式会社の企業ぐるみ閉山」（『エネルギー史研究』2014年3月）と『雄別炭礦の残存埋蔵量と仮想雄別炭礦再開発計画・雄別の夢』（『エネルギー史研究』2015年3月）をおおやけにされました。

三輪さんにはこの二つの「論説」と「紹介」を報告していただきます。

（2）会員の金丸哲也さんには、①第四次石炭政策の背景——大正鉱業、大辻炭鉱、大日本炭鉱などの悲劇、植村業界再編案、炭労の国有化闘争、②第四次石炭政策の内容、③明治、杵島、麻生の適用閉山、④羽幌の適用閉山、⑤羽幌以外の中小鉱の適用閉山（北星、飯野など）、⑥第四次石炭政策後の閉山——常磐磐城、日炭高松の閉山、住友石炭の経営危機などの項目にそって報告していただきます。

■日時：2015年7月18日（土）午後1時～5時

■会場：渋谷区立勤労福祉会館第三洋室（渋谷駅下車、徒歩約15分）

電話：03-3462-2511 住所：東京都渋谷区神南1-19-8

■報告：①金丸哲也「第四次石炭政策と企業ぐるみ閉山（雄別を除く）」

②三輪紀元「第4次石炭政策下での雄別炭礦株式会社の企業ぐるみ閉山と仮想雄別炭礦再開発計画」

2015年5月28日 村田淳記

海外鉱山文献読書会のご案内

丸山もとこ

1996年に始まった当勉強会は、原則毎月一回、英文テキストを逐語訳で少しずつ読み解いています。海外の鉱山の歴史を知りたい方、英語の鉱山専門用語や言い回しに慣れたい方、一緒に勉強しませんか？

【テキスト】 Spence, Clark C. *British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901*. University of Idaho Press, 1995.

【次回】 2015年6月11日（木）15:30～17:30

【会場】 川崎駅の近く（参加希望者にご連絡ください）

【会費】 なし ただしテキストは自分で用意してください

【ウェブサイト】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/reading/>

【連絡先】 jmrs.dokushokai@gmail.com

【注意事項】 参加希望者は必ず事前にご連絡ください

第13回伊豆鉾山(松崎町)巡検予告

伊豆半島には、名前が変わり重複したものも含めて140の鉾山があると思われます。まさに坑だらけ、鉾山半島ともいえます。なかには中世や近世に起源をもつ鉾山もあります。これらの鉾山のあり方は近代のものとかかなり違った様相をしています。

まだ訪れていない鉾山が多く残されています。鉾山の原初の姿とその成り立ちの過程をしのべます。後に大鉾山に発展したものもあります。

いままでほぼ現地を確認できた主要な鉾山を訪れましたが、今回はまだ訪れていない未知の鉾山を探しながらめぐります。

そのためには確実な下見が必要です。ご協力いただけるかたは村田まで申し出てください。

■日程：2016年3月上旬の土曜日と日曜日（1泊2日）

■見学場所：静岡県松崎町および南伊豆町周辺

■服装・装備：服装は丈夫で汚れてもいい上着とズボン、足元のしっかりした靴あるいは長靴。ヘルメット（常備）、ハンマー（あればよい）。

ヘルメットは巡検中被ること、ヘルメットの用意のない方は参加を辞退していただきます。

■宿泊：松崎町あるいは南伊豆町の民宿（予定）

■参加費：未定

■申込締切り：2016年2月中旬

■申込み、問合せ：メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

村田淳 電話・FAX：(045)401-5259 住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台41-22

*2015年5月27日 村田淳記

持倉鉾山見学会案

かつて訪れた鉾山ですが、今回は鉾業事務所のみの見学だったので、今回は関連の坑口や精錬所跡なども見学します。

当地で持倉鉾山を研究しているかた、NPO 法人阿賀野環境学舎のかたやボランティアで協力をいただいているかた、さらに胎内市クレーストン博士の館館長さんなどのご協力をいただいております。資料を集めて送っていただいたり、閉山後は足を踏み入れたことがほとんどない、関連の事業所や坑口現地の調査確認までしていただいております。

誠にありがたい限りです。

できれば事前に下見ができればよいです。下見に協力していただける方は申し出てください。

注意：ヘルメットは必ず持参してください。見学時は常時被ることを義務づけます。

また多少の山道を徒歩で移動しますので、歩きやすい靴を履いてください。

■日程：2015年10月31日（土）から11月1日（日）（1泊2日）

■集合時刻と場所：10月31日（土）11時（予定） JR新潟駅レンタカー事務所
上越新幹線東京発8時30頃発で11時に新潟に到着。レンタカー利用

■見学場所：

◎31日（土）午後

①持倉鉾山鉾業事務所跡

◎11月1日（日）午前 弁当持参

②関連の事業所などの施設あとや坑口跡など

◎午後 岐路 レンタカーでいつまで移動後解散

③時間に余裕があれば胎内市クレーストン博士の館

■服装・装備：服装は丈夫で汚れてもいい上着とズボン、足元のしっかりした靴あるいは長靴。ハンマー（あればよい）。ヘルメットは常備。

■宿泊：阿賀町近辺、交渉中

■参加費：未定（集合場所までの交通費と昼食代は含まれません。）

■申込締切り：2015年9月上旬厳守。レンタカーの手配がありますので、締め切り日より遅くなった場合は、参加できないことがあります。

■申込み、問合せ：村田淳 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

電話・FAX：(045)401-5259 住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

例会報告者の募集

例会で報告していただける方を募集しています。

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告20分質疑応答10分に比べ、報告約1時間質疑応答30分と十分に時間があります。じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであればかまいません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。問い合わせ、申し込みは、村田淳あるいは役員に。

2015年度年次大会報告

日時：4月18日（土）午後1時～5時

会場：川崎市産業振興会館 11階第5会議室

参加者：7人

①**報告**：齋藤和美『米欧回覧実記』を鉱業から読む（1）アメリカ篇
村田淳「国指定文化財、黒川金山（山梨県塩山市）巡検報告」
遠田義則「足尾の精錬所について」

②**音楽演奏**：遠田義則「絵画「死の島」に着想をえたギターの演奏」

④**総会**：2014年度活動報告（以下に掲載）、2015年度活動計画1頁に掲載）と予算・決算についての討議・承認されました。会計監査も了承されました。会計関係資料は会員のみ配布します。

問題点：①会員数の増加に努める。学生は会費を半額にする。②各行事ともに参加者が少なく、内容に工夫が必要。③例会や大会の報告者が少ないので、開催方法や報告者が申し出をしやすいようにする。④巡検や見学会は魅力あるものを対象にする。⑤2014年度中の『鉱山研究』はまだ発行していないが、残金が不足しているので、会費の徴収後様子を見て発行する。あまり予算が取れないときは次号との合併号とする。100号は記念号にする企画をたてる。

2014年度の行事の実施状況

4月26日（土）2014年度年次大会・総会

28日（月）海外鉱山文献読書会

5月26日（月）海外鉱山文献読書会

- 31日(土) 第38回映像の会
- 6月26日(木) 海外鉱山文献読書会
- 7月3日(木) NL95 発行
- 7月26日(土) 例会
- 今野進「金鉱山から都市鉱山へー将来への展望ー中外鉱業の場合」
- 村田淳「「オーストラリアの鉱山ー世界鉱山歴史会議報告ー」
- 31日(木) 海外鉱山文献読書会
- 8月23日(土) 第39回映像の会
- 28日(木) 海外鉱山文献読書会
- 10月10日 NL96 発行
- 23日(木) 海外鉱山文献読書会
- 11月8日(土)～9日(日) 黒川金山、都留金山見学
- 13日(木) 海外鉱山文献読書会
- 12月6日(土) 第41回映像の会
- 9日(火) NL97 発行
- 18日(木) 海外鉱山文献読書会
- 12月末日『鉱山研究』92号原稿締切(延期)
- 2015年1月10日(土) 例会
- 高岡秀俊「伊豆の隠し金山」
- 熊谷友昭「戦前の鉄鋼生産を支えた奥武蔵山中貨物索道ー白岩～吾野間
石灰石搬送の調査報告
- 22日(木) 海外鉱山文献読書会
- 2月19日(木) 海外鉱山文献読書会
- 3月7日(土)～8日(日) 伊豆巡検(伊東市郊外金山、河津の金山ほか)
- 21日(土) NL98 発行
- 4月9日(木) 海外鉱山文献読書会
- 18日(土) 2015年度年次大会・総会
- (未定)『鉱山研究』92号発行(原稿募集中)

名簿作成について

会員同士で教えあい、情報を交換するために名簿が必要です。海外の研究者は公開するのが原則です。もちろん名簿は会員のための配布です。

年次大会後に名簿を作成します。公開してほしくない会員は、その旨を村田に連絡してください。分かっている限りで、氏名、住所、電話、メールアドレスを掲載します。

不都合がある会員は至急連絡してください。

会員の著作目録のHPへの掲載の提案

背景

オーストラリアの鉱山史研究会のHPには、会員の著作目録が掲載されていません。

会員相互の情報交換に役立ち、著書の売り上げにつながりますし、会の活動を詳細に世間に知らせることができます。

手順

①鉱山関係とその他の分野に分けてA、B、Cの3項目とし、発表年次順に並べる。ただし「金属鉱山研究」と「鉱山研究」に掲載分は前者の後部にその旨を表示。研究のバックナンバーを掲載することにして重複はさける。

②そのため研究のバックナンバーを整備する。

③名簿の掲載に合わせて自己申告してもらおう。メールで原稿を送ってください。

④皆様の賛同があれば目録を提供してくれた会員のものから順次掲載する。

⑤その場合、書名 発行所 頁数 発行・発表年月 購入可能な時は定価 内容を100字程度で紹介（B、C分野は省略）

例 村田淳

A 鉱山文献

●編著 甦る地底の記録—磐炭・入山労働争議資料集成 第1巻 いわき社会問題研究会 234頁 1983年6月 売り切れ

1927年に勃発した磐城炭礦と入山炭鉱の労働争議を中心にして、いわき地方の労働運動に関係する明治期から昭和前回までの記録を集め、簡単な解説を加えた。写真と当時の新聞や関係資料を掲載。続巻は未刊行、準備中。

B 「金属鉱山研究」および「鉱山研究」掲載著作

炭鉱、友子、伊豆巡検、海外鉱山について掲載

C 鉱山以外の分野

●共著 昭和精神史の一断面—法哲学者加古祐二郎とその日記 共著者・大橋智之

輔・名和田是彦・福井厚・藤田勇 法政大学現代法研究所 271 頁 1991 年 3 月
3090 円

●故前尾繁三郎所蔵の加古祐二郎の蔵書 雑誌『みすず』 1985 年 6, 9 月号

●忘れっぽい天使さま—洋子さんへのアートカード 同人誌『蒲公英』第 11 号、
12 号、13 号 1999 年